

守屋商店 男鹿市船川港船川字船川167-2

生花の鮮度を保持し24時間いつでも顧客ニーズに迅速に安定供給する葬儀花の専門店へ

事業計画名 鮮温庫導入による葬儀花の新規顧客及び商圏拡大事業

概要 多様化している葬儀花への迅速で均一なサービス提供により、顧客満足度の向上を図り新規顧客及び商圏の拡大を目指す。

取り組みのきっかけ

小規模生花店を取り巻く多くの課題

当店は売上の7割近くを葬儀花が占める生花店である。高齢化にともなう葬儀件数の増加から葬儀花の売上は安定しているが、葬儀花の準備に短期間かつ24時間対応を求められるため、鮮度保持期間が短い生花の在庫を廃棄のリスクを伴いながら一定程度抱える必要があった。

また、生花は価格変動が激しく、高価格でも仕入れなければならない場合があること、秋田市の生花市場への仕入れに週3回(往復2時間+セリ2時間/回)の時間が費やされ、営業時間を確保できないなどの経営課題を抱えていた。

革新的なもののづくり・サービスの目標

鮮温庫の導入で計画的な仕入れを可能とする

葬儀花の主な商品である菊の鮮度を維持し、寿命を伸ばすことに効果の高い鮮温庫を導入し、市場価格、仕入数量の変動に左右されない仕入れ体制を実現する。

販売地域の拡大

仕入れにかかる時間を減らし、遠方への配達を可能とするほか、地域密着型のサービスをアピールしていくことで商圏の拡大をはかる。

革新的なもののづくり・サービスのポイント

最適条件の設定を見出す

生花の種類により鮮度保持に最適な温度・湿度が異なるため、最適な条件設定とバラツキの値を見極め、その条件を守れるよう管理する。

鮮温庫の管理体制

1回の開閉で外界の影響を受け温度は2～4℃上昇するので、自動調整の能力の限界を判定し、短時間での出入りを心がける。



プレハブ鮮温庫



鮮温庫内の生花保存



鮮温庫の制御盤

代表者 守屋 周治郎 **業種** その他小売業
TEL 0185-22-1187
FAX 0185-23-2686
URL www.namahage.ne.jp/~hanano-moriya/
設立 昭和元年5月

いらした方が楽しく、元気になるように心がけている生花店。葬儀関係の会社とのつながりが深く、日中の時間だけではなく柔軟な対応で取引先からの信頼を得ている。



事業の成果

鮮度保持期間の延長で計画的な仕入れを実現

商品価値を長期間保つことが困難であった菊の寿命が温度1℃、湿度90%の環境下で、7日から30日に伸びた。仕入れ価格は入荷時期により2倍程度のバラツキがあったが、価格安定期に計画的な仕入れができるようになり、収益も向上している。

また、2日に1回であった仕入れ回数が2週間に1回程度まで減らすことができ、管理が容易になったほか、管内への営業に今までより時間を割くことができるようになった。



鮮温庫による保存状態①



鮮温庫による保存状態②

品 名	貯蔵日数	
	従来の冷蔵庫	鮮温庫
カーネーション	7日	28日
菊	7日	30日
鉄砲ユリ	15日	80日
宿根カスミ草	7日	20日
トルコキキョウ	7日	14日
宿根スターチス	7日	18日
デルフィニウム	7日	14日
りんどう	7日	20日

今後の展開

鮮温庫を活かして、葬儀における作業時間等の効率化・商圏拡大をすすめていく。

地域における葬儀花販売のシェアを高め、現在より100万円の売上げの拡大、仕入れ価格の削減により5%の利益率向上を目指していきたい。

事業者からの一言

鮮温庫の導入で、お客様に安定した価格でより新鮮かつ多様な商品を迅速に提供できる体制が整いました。とにかく頑張っていきたいです。